

会議録 (要約版)

会議の名称	平成28年度第3回弘前市上下水道事業経営審議会
開催年月日	平成29年1月17日(火)
開始・終了時刻	午前9時30分から 11時まで
開催場所	弘前市役所岩木庁舎2階「多目的ホール」
議長の氏名	弘前大学人文社会科学部教授 飯島 裕胤
出席者	会長 飯島 裕胤 <small>会長職務代理者</small> 齊藤 嘉春 委員 村上 照彦 委員 三上 久志 委員 溝江 初子 委員 福士 稔 委員 杉沼 仁恵
欠席者	委員 佐々木 薫子
事務局職員の職氏名	上下水道部長 佐藤 嘉哉 総務課長 會津 雅彦 工務課長 山上 信俊 上水道施設課長 坂田 一幸 下水道施設課長 目賀田 年昭 総務課長補佐 木村 勲 総務課長補佐 竹内 伸幸 工務課長補佐 棟方 勝雄 上水道施設課長補佐 佐藤 克嗣 下水道施設課長補佐 山本 正行 総務課主幹 小野 敦弘 工務課主幹 寺山 敏彦 上水道施設課浄水係長 丹代 喜代一 上水道施設課技師 横山 芳貴 総務課主幹 佐藤 孝子 総務課総括主査 齊藤 智子 総務課主査 木部 麻美
その他の出席者	日本水工設計株式会社 東京支社 水道部 設計課 課長 寺井 達也 東北支社 水道課 課長 千葉 克史 課長 川口 秀樹
会議の議題	会長及び会長職務代理者の選出
会議資料の名称	資料1-1 これまでの経営審議会について 資料1-2 平成26年度弘前市上下水道事業経営審議会報告書 資料2 水道事業におけるアセットマネジメントについて 資料3 民間活力導入可能性調査の現況報告
会議内容 (発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)	<p>1 委嘱状交付 上下水道部長より委員へ委嘱状を交付</p> <p>2 開会</p> <p>3 上下水道部長挨拶</p> <p>4 委員紹介</p> <p>5 案件 会長及び会長職務代理者の選出</p> <p>・ 仮議長選出 選出方法：委員より事務局一任の声あり。</p>

事務局案により、最年長者の溝江委員を仮議長に選出。

・ **会長選出（仮議長：溝江委員）**

選出方法：「弘前市上下水道事業経営審議会運営規則」第3条第1項の規定により委員の互選により選出。

委員より、飯島委員を推薦する声あり。

ほかに候補者はなし。

飯島委員を会長とすることについて、委員から異議はなし。

飯島委員から承諾を得て、飯島委員を会長に選出。

・ **会長職務代理者選出（議長：飯島会長）**

選出方法：「弘前市上下水道事業経営審議会運営規則」第3条第3項の規定により会長が指名。

飯島会長より齊藤委員を会長職務代理者に指名。

齊藤委員承諾。

6 弘前市上下水道事業経営審議会に係る条例・規則等について

「弘前市付属機関設置条例」、「弘前市上下水道事業経営審議会運営規則」、「弘前市上下水道事業経営審議会取扱要綱」について、総務課長より説明。

7 報告

(1) これまでの経営審議会について

これまでの経営審議会の案件等について、総務課長より説明。

質問等はなし。

(2) 水道事業におけるアセットマネジメントについて

水道事業におけるアセットマネジメントの概要、目的について工務課長より説明。

続いて、「弘前市水道事業アセットマネジメント計画策定業務」の受注者である、日本水工設計株式会社東北支社（水道課 千葉課長）より現況説明。

各委員との質疑応答は以下のとおり。

飯島会長

工種・年度別更新需要について、2017年度以降は、だいたい10億円程度、多いときは30億円程度、ピーク時には60億円を超えるということですが、資料は2017年度以降の更新需要ですので、これ以前の更新需要と比較して見せていただくと、今後、どれだけ大変なのかということが、より理解できると思いますので、次回に示していただ

ければと思います。

齊藤委員

法定対応年数が40年となっておりますが、管種にかかわらず、一律40年ということですか。

日本水工設計(株) 千葉課長

地方公営企業法施行規則により、一般的な管については、法定耐用年数は40年ですが、管種によって多少の違いはあります。

齊藤委員

工法や使用材料によって、だいぶ耐震性が増しているかと思います。先ほどの将来背景は、5割増しの60年サイクルで見ている、2113年がピークになっていますが、将来的に耐震化や補強する材料が開発されることによって、変わって来たりする可能性もあるのでしょうか。

日本水工設計(株) 千葉課長

もちろんその可能性もあります。現在、法定耐用年数で試算することが、スタート地点になっていますが、現在使用されている管路について、100年持つというものもメーカーで開発されています。今後、アセットマネジメント計画の策定を進めていくうえで、どのような更新サイクルが望ましいのかということも提案する予定で考えております。

(3) 樋の口浄水場の建設事業について

樋の口浄水場建設事業の、これまでの経緯について上水道施設課長より説明。

続いて、「平成28年度民間活力導入可能性調査業務委託」の受注者である、日本水工設計株式会社東北支社（水道課 千葉課長）より現況説明。

各委員との質疑応答は以下のとおり。

飯島会長

可能性調査結果ということで、A～E社の5社が、参加意向を示しているということですか。

日本水工設計(株) 千葉課長

5社すべての業者が、本事業について、参加意向を示しているということでございます。

飯島会長

C～E社については、VFMが出ていませんが、どういうことですか。

日本水工設計㈱ 千葉課長

アンケート調査を実施した各社に対して、事業費の算出についてお伺いしたところ、それぞれのノウハウの部分で提示が難しいということと、まだ具体的な概要が決まっていない状態で、細かい数字を出すのは難しいという回答を得た業者に対しては、それ以上の提示の提供をお願いしませんでした。

飯島会長

本気で参加意向のある業者が（事業費について回答した）2社だけだとすれば、非常に心許ないのですが、回答いただけなかった3社は、現実的に参加する意思があるのでしょうか。

日本水工設計㈱ 千葉課長

参加意向の意思については、確認しております。

飯島会長

総事業費について、直営の100%に対して、VFMがA社3.0%、B社2.0%とありますが、金額にするといくらくらいになるのでしょうか。

上下水道部長

総事業費については、これから検討することになりますので、具体的な金額については、まだお示しできません。

福士委員

アンケートの実施についてですが、何社に依頼したのですか。資料では5社から回答を得ていますが、例えば、100社に依頼して5社から回答を得たのか、10社に依頼して5社から回答を得たのか。

日本水工設計㈱ 千葉課長

今回のアンケートは、5社に依頼して、5社から回答をいただきました。

福士委員

5社以外は対象にできなかったのですか。

日本水工設計㈱ 千葉課長

国内にはさまざまな会社がありますが、今回の浄水場建設事業は、比較的規模が大きいので、実績などで絞り込んでおります。

	<p>福士委員 対象の5社については、御社（日本水工設計株）が選んだのですか。</p> <p>日本水工設計株 千葉課長 当社からの提案と、上下水道部で決めたものです。</p> <p>（報告及び質疑応答は以上）</p> <p>8 事務連絡</p> <p>9 閉会</p>
その他必要事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議は公開。 ・ 傍聴者はなし。 ・ 報道機関取材は3社。